

## 令和7年度 第1回下松市上下水道事業審議会

○日 時 令和7年8月27日（水曜日） 午前10時～午前11時25分

○場 所 下松市上下水道局3階会議室

### ○ 議事

（1）委員の異動報告

→委員1名の異動について報告

（2）会長選出等について

→全員異議なく、会長を選出

（3）会議の成立について

→9人中全員出席により成立

（4）水道事業の現状と課題について

事務局より概要の説明

### 協議内容、質問事項

委 員 経年化率が47.3%となっているが、今後更新していく場合何年くらいかかるのか。

事務局 市内に約300kmの管路があるが、これについて1%更新していくと、単純には100年かかる。しかしながら、経年化率47.3%については、法定耐用年数の40年で算出している財務上の数値であり、実際の耐用年数については、管の材質や埋設状況によっても変わってくるものである。

委 員 今後の管路の更新については、錆びにくい材質で耐用年数の長い材質のものを使用していくのか。また、今後の更新の方針については。

事務局 下松市においては、铸铁管については全て更新を行い、現在布設されているものはない。今後は、ポリエチレン管、ダクタイル铸铁管など強固な管を布設していくこととなる。漏水した場合影響の大きい重要路線、修理履歴の多い箇所を中心に、優先順位を勘案しながら更新を行っていく。

委 員 技術者等の人材の確保については十分なのか。

事務局 技術職員の確保については、難しい状況となっている。採用については、

市長部局と連携した取組として、キャリアデーへの出展、就職ガイダンスへの参加、インターンシップの受入等を行っている。ホームページなどにも掲載し、働きやすい職場ということを PR している。人材の育成についても、市で実施する研修や、局においても専門的な研修に参加してもらうなど取り組んでいる。

委員 水道施設については、市民が安全に暮らしていくためには、欠かせない重要なインフラである。今後、施設を更新していく費用については、施設の経年化率の現状を考慮すると、市一般会計からの繰出も考えられるのか。

事務局 一般会計からの繰出については、独立採算制が原則であり、工事等の費用については繰出の対象にはならないが、上下水道局職員に対する児童手当の給付に要する費用などについては、国の繰出基準に従って、適正に繰り入れられている。管路の更新費用については、現在経営戦略の見直し作業を行っており、投資・財政計画も策定していく予定である。

委員 下松市は全国的にも水道料金が安いですが、今後の施設の更新の必要性を考えると、そのようなことも言えない状況になってくると思う。市民にも老朽化の現状についても伝えていき、老朽管については更新していくべきだし、そのためには水道料金を上げていくことも考えていくべきである。

事務局 ご指摘のとおり、本市の水道料金は民間の調査によるある一定の使用水量を基準にすると、全国 4 番目に安い一方で、経営状況については厳しい状況である。経営戦略の見直しについてしっかり進めていきたい。

委員 水道料金を上げる必要もあると思うが、企業誘致等についてはどのように進めていくのか。

事務局 企業誘致については、市地域振興部と連携しつつ、東海岸通りへの誘致に取り組んでいる。今後も市長部局と連携を図り進めていきたい。

委員 独立採算制が原則ということであるが、費用対効果を踏まえ、未普及地区や、人口が減少している地区について、どのように整備を進めていくのか。

事務局 難しい問題であるが、新技術を活用した多様な手法による水供給についても研究していきたい。